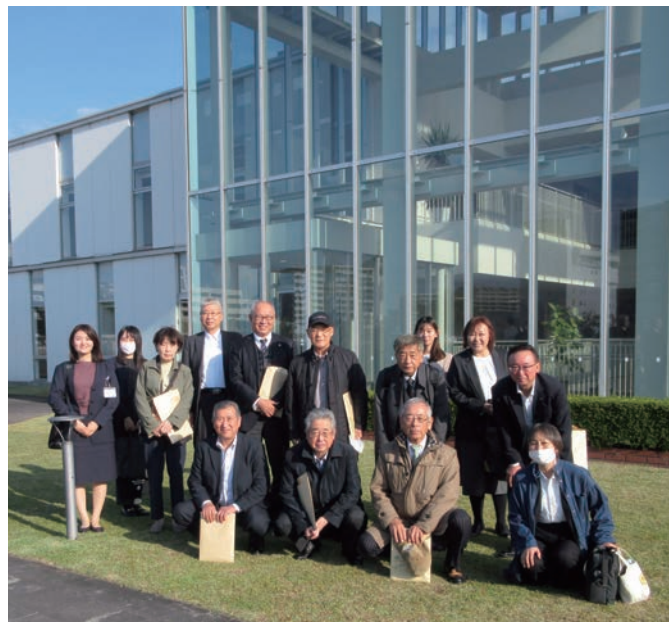




青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年12月28日



大分市の複合文化施設「ホルトホール大分」等を視察



豊後高田市「昭和の町」商店街



別府市の(株)関屋リゾート

大分市のまちづくりなどを視察 国内経済視察会

組合では県外の先進企業やまちづくり等を視察する国内経済視察会を11月15日から17日までの3日間行った。今回は柳谷理事長を団長に組合員ら10名が参加し、大分県の大分市役所や(株)関屋リゾートなどを視察した。

大分市は人口約47万人で大分県の中央部に位置しており、大分駅周辺は「大分駅周辺総合整備事業」により整備され、公共施設や複合施設などが立ち並んでいる。本事業

は①駅高架化②駅南側区画整理③庄の原佐野線開通及びその他関連街路の整備を軸に行われた。駅の南側には幅員100メートルのシンボルロード「大分いこいの道」が整備され、イベントスペースに利用されるなど市民の憩いの場となっている。また、同市ではアートを活かしたまちづくりに取り組んでおり、中心市街地を舞台に壁画やシャッターアート、空きビルを利用した作品展示などを行うアート

フェスティバルを開催。アートの力を活用して地域の魅力づくりや経済の活性化を図っている。(株)関屋リゾートは、別府市を拠点として旅館・ホテルを3店舗経営。リゾートホテル「ガレリア御堂原」は、温泉とアートを融合した滞在型ホテルとして国内外から多くの宿泊客が訪れている。宿泊業の大卒3年以内の離職率が50%を超える中、(株)関屋リゾートでは新卒採用者の

離職者0人を継続。人事制度の改革や人材育成の仕組みづくりを行い、働きがいのある会社を実現。独自の育成プログラムである「関屋アカデミー」では新卒社員に必要なスキルの講座など多数実施し、人材育成につなげている。

SDGs 標語コンクール 受賞作品が決定

そのほか視察団一行は、豊後高田市の昭和30年代を再現した商店街「昭和の町」や由布院にある隈研吾氏設計のコミュニティミュージアムユフインなどを視察した。

問屋町で進めているSDGs推進活動の一環として行われた当コンクールには、組合員及び団地内関連企業の従業員から69名123件の応募があった。標語の内容はSDGsに関連した職場やビジネスでの取り組みに限定。コンクールを主催した企画情報委員による選考の結果、最優秀賞1点、優秀賞10点が選ばれた。12月12日(火)に問屋町会館で行われた表彰式では、鷲尾企画情報委員長から受賞者へ表彰状と記念品が手渡された。受賞作品は、問屋町会館ロビーや組合ホームページで公開。また、本紙でも毎月一作品ずつ掲載していく。受賞者は次のとおり。



SDGs 標語コンクール受賞者

多様性 認めて仲ばそう 可能性

リコージャパン(株) 坂本 建光 氏

第 7 回 理 事 会

2023年度第7回理事会が11月29日(水)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町100日ウォーキングの結果やSDGs推進活動の実施状況などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一、企画情報委員会からの意見について
案件二、環境対策委員会からの意見について
案件三、共同物流センター冷凍・冷蔵庫一部改修工事の実施について

交通事故防止対策を協議
問屋町交通診断

青森交通安全協会問屋町支部(工藤支部長)では、11月13日(月)に問屋町会館2階大会議室において問屋町交通診断を開催した。

同診断は卸団地内や周辺道路などの交通事故防止対策を協議するもの。交通診断での協議により、アスファルト舗装の補修や道路標示の塗り直し、歩行者用信号機の新設など、関係機関の協力を得て様々な事故防止対策が講じられてきた。

今回の診断には青森警察

案件四、共同物流事業の委託料改定について
案件五、組合員の倒産処理について
案件六、第57回通常総会の日程等について
案件七、2023年度第8回

理事会の日程等について
理事会終了後には青森問屋町配送(株)の第3回取締役会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

DX推進セミナー開催

組合では11月14日(火)にDX推進セミナーを問屋町会館で開催し、23名が参加した。当セミナーは青森県中小企業

署、国、県、市の各担当官を招き、支部会員30名が参加。交通事故発生時の恐れのある箇所の写真等をスライドに表示して協議を進めた。

今年度は問屋町東口及び第二問屋町北口交差点に加え、今年9月から営業を開始したマエダストア問屋町店前にお

ける安全対策を協議。また、青森市中央卸売市場前枝線道路のアスファルト隆起、卸団地内の横断歩道や停止線などの道路標示不鮮明箇所についても対策を強く要望した。質疑応答では、事前に出席者に卸団地内や周辺道路で気になる箇所や疑問点について確認を行い、当日はその内容につ



問屋町交通診断



DX推進セミナー

団体中央会の補助事業として、青森総合流通団地(協)連合会との共催で実施。(株)ミヤックス代表取締役の高橋蔵人氏を講師に招き、地域企業のためのDX経営実践のコツについて学んだ。

日本でも中小企業が自社の業績を伸ばしていくためには、新たなデジタル事業をイチから始めるのではなく、自社の本業で蓄積したデータを活かして、数の商売から利益率の高い商売へのシフトを図らなければならない」と話した。

第2回 税務研修会

11月20日(月)に問屋町会館1階会議室において第2回税務研修会が開催された。青森法人会と共催で開催された研修会では、青森税務署の田代審理専門官と工藤氏が講師を務め、組合員従業員ら24名が参加した。



第2回税務研修会

今回は「年末調整について」をテーマに、昨年からの変更になった点を中心に年末調整のやり方について学んだ。研修会ではそのほか、2024年1月から改正される電子帳簿保存法についても詳しく説明があった。

第37回通常総会を開催
青森県流通団地連絡協議会

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会の第37回通常総会が11月29日(水)、ホテル青森で開催された。

県内各地の卸団地から19名が出席して行われた総会では柳谷会長(協青森総合卸センター理事長)が議長に選出され、審議の結果、全て原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では、新たな会長に(協)八戸総合卸センターの橋本理事長が、副会長には当組合の柳谷理事長がそれぞれ



青森県流通団地連絡協議会通常総会

選任された。総会後に開催された懇親会では、青森県商工労働部の上沢次長、赤坂青森副市長から祝辞が述べられ、(株)商工組合中央金庫青森支店の深道支店長による乾杯の音頭で祝宴に入り、懇親を深めた。

弊社ECサイトで

経費削減

気になる方は
今すぐECサイトへ
アクセス



和田ゴム販売株式会社
TEL.017-738-4395



株式会社 角弘

〒030-8543 青森市新町二丁目5番1号
TEL 017-723-2222 FAX 017-723-2224

問屋町たんしん

【2024年組合員新年会】
①日時 2024年1月12日
(金) 午後6時



昨年の組合員新年会

第71弾となる今回の経済雑感、(株)商工組合中央金庫青森支店の深道支店長にご寄稿いただいた。

経済雑感

第一四四回

(株)商工組合中央金庫青森支店
支店長 深道 英明

青森総合卸センター様並びに組合員の皆様には、平素より大変お世話になっておりますこと厚く御礼申し上げます。

私ども商工中金は、1936年(昭和11年)商工組合中央金庫法に基づき、政府と中小企業組合が共同出資する唯一の政策金融機関として設立され、以来85年を超えて、中小企業専門の金融機関として発展してきました。そのような中、2

②会場 ホテル青森
3階「孔雀の間」
③会費 お一人につき
3300円(税込)

業務報告

主要事項

11月
1日▽インフルエンザ集団予防接種(4日目)
7日▽問屋町経営同友会視察研修会(8日)
9日▽問屋町支店長・所長連絡会第3回幹事会
10日▽第3回インフラ再整備推進ワーキング委員会

13日▽安協問屋町支部問屋町交通診断
14日▽DX推進セミナー
15日▽金融審査会
▽国内経済視察会(17日)
17日▽問屋町経営同友会第36回会員交流会
20日▽第2回環境対策委員会
▽第2回財務研修会
21日▽第2回企画情報委員会
22日▽第2回献血
▽第16回フラワーアレンジメント教室
24日▽第47回問屋町ボウリング大会(1日目)
29日▽第7回理事会
▽青森問屋町配送(株)第3

回取締役会
▽北日本流通ヴァン(株)臨時総会
▽県流通団地連絡協議会第1回理事会・第37回通常総会

問屋町
ビジネススクール

7日▽リーダーシップ能力向上研修(8日)
24日▽基礎から学ぶ年末調整研修(1日目)
28日▽基礎から学ぶ年末調整研修(2日目)
30日▽ビジネスマナー研修
【電話・来客応対編】



(株)商工組合中央金庫
青森支店 支店長
深道 英明氏

023年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立しました。まずはこの改正についてお話しします。
商工中金法の第一条では、完全民営化の実現を目指すこと、及び中小企業の円滑化を目的とする旨が明記されています。しかしながら2008年以降リーマンショックや東日本大震災に伴うセーフティネット機能の発揮が期待され、民営化は数度にわたり延期となりました。

そうした中、2016年に危機対応業務に係る不正事実を起し、商工中金の在り方そのものが議論されましたが、組織の再生のため策定した「商工中金経営改革プログラム」に取り組み、その後の「在り方検討会」での結論を踏まえて、今回の法改正に至りました。
在り方検討会では、「中小企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況。そのため中小企業を支える商工中金の改革は待ったなし。今回の改革は、商工中金の機能強化により、中小企業を牽引し、未来を創ることが狙い」との議論もありました。

持され、「中小企業を支える」という商工中金の使命は変わらないことになりました。一方で経営環境が目まぐるしく変化する現代において、中小企業を支えるためのビジネスもそれに合わせる必要がありました。民営化に合わせて未来志向の構造改革を進めている中でもあります。
今回の法改正は「真に中小企業に役立つ商工中金のあるべき姿を実現させる」もので、新生・商工中金としてのスタートラインだと考えています。商工中金が変わりつつあることにより、今回の法改正に込められた様々な想いに応え、中小企業に役立つための組織づくりに邁進してまいります。

(つづく)

入 学 生 募 集 !

— ICTのスペシャリストを育成!! —

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

あおもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311

URL: <http://www.acc.ac.jp>

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社



昭産商事 青森支店

青森市問屋町2丁目15-9

電話 (017) 738-4551

電設資材総合商社

本社 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町4丁目1-20

☎ 017-771-9000 FAX 017-771-9010

東和電材株式会社

【営業ネットワーク】

■青森地区／青森・むつ・弘前・五所川原・八戸・三沢・十和田

■秋田東和電材／秋田・大館・能代・大曲・本荘・横手 ■埼玉地区／大宮・川越・行田・浦和・所沢・川口



第47回ボウリング大会

第47回問屋町ボウリング大会が11月24日(金)と12月1日(金)にアオモリボウルで開催され、13社から90名が参加した。

大会は1チーム3名の団体戦と個人戦が行われ、2ゲームのトータルスコアで順位を決定。競技の結果、団体戦では藤村機器(株)Cチームが優勝。また個人戦女性の部では(株)吉田産業の蝦名えりか氏が個人4連覇を達成した。

第47回ボウリング大会 競技結果

【団体戦】

順位	チーム	スコア (3人2ゲーム合計)
優勝	藤村機器(株)C	922
準優勝	(株)吉田産業A	908
第3位	青森総合警備保障(株)A	902

※1チーム3名で構成。女性には1ゲームにつき20点のハンディを付与

【個人戦 男性の部】

順位	氏名	チーム	スコア (3人2ゲーム合計)
優勝	福川 勝美	藤村機器(株)	351
準優勝	佐々木 優	青森総合警備保障(株)	326
第3位	青木 良憲	青森総合警備保障(株)	323

【個人戦 女性の部】

順位	氏名	チーム	スコア (3人2ゲーム合計)
優勝	蝦名えりか	(株)吉田産業	319
準優勝	長尾 円	丸大堀内(株)	315
第3位	長内 尚美	青森流通機構(株)	308

フラワーアレンジメント教室

フラワーアレンジメント教室が「いい夫婦の日」にちなんで11月22日(水)に開催された。問屋町会館2階で行われた同教室には組合員従業員ら38名が参加した。



団体戦優勝の藤村機器(株)Cチーム

同教室は花の普及を目的に青森県花のくにづくり推進協議会の協力のもと開催され、今年で9年目となる。参加者は講師の説明を聞きながら1時間ほどで作品を完成。自分で作った華やかなフラワーアレンジメントを満足そうに持ち帰った。



親子でフラワーアレンジメントを楽しむ

編集後記

SDGs推進事業の一環として、標語コンクールを実施しました。最優秀賞の標語が素晴らしいのはもちろんですが、たくさんの方が標語を通じてSDGsに触れてくれたことが嬉しいですね。SDGsの反対は無関心。対象範囲が広いSDGsは、取り組んでいる実感を捉えにくいところがありますが、これからも手数を増やして関心を高めたいと思います▼さて、2023年を振り返ると、理事長交代とコロナ5類移行の2つが印象深いです。西前理事長の市長選出馬に伴い、急遽、理事長交代となりましたが、柳谷新理事長から学ぶことも多く、組合事務局も日々アップデイトしています▼西新青森市長とは会議等でお会いする機会も多く、精力的に新しいまちづくりに取り組む姿を拝見すると嬉しく思います▼コロナ5類移行は、業務全般へ広く影響がありました。もちろんポジティブな影響ばかりで、特に懇親会が増えたことで確実にコミュニケーションの質も量も上がったと実感します。やっぱり雑談が大切ですね▼また、出張で他県を視察することも多くなり、やはり百聞は一見に如かずだと思いました。石巻市の震災遺構にはたくさんの方の教訓がありましたし、金沢市の海外からのインバウンド観光客の多さにも驚きました。何より青森ねぶた祭が通常開催に戻り、たくさんの方のハートと一緒に乱舞できたのは心から良かったです。新年もよい年になりますように。(小田切)

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)技研の後藤社長にお話を伺った。

同社は、昭和54年4月に創業し、コンクリート二次製品の製造を中心に営業しており来年45周年を迎える。

「当社は、常識にとらわれず常に新しい製品及び工法の開発を心がけることを信条とし、高い技術力を活かして数々の特許を取得してきました。創業期には大型擁壁のスーパーウォール、現在はスーパーボックスカルバートが当社の主力商品です。六戸にある自社工場で作成するスーパーボックスカルバートは、現場施工



(株)技研
代表取締役社長
後藤 琢磨 氏

に比べ道路建設工期を大きく短縮できることから、東日本大震災の復興道路建設に大きく貢献しました。昨今は建設業界でも人手不足と働き方改革が進行しており、当社の製品を使用することで工期短縮だけではなく工事現場の人員削減を図ることができそうです。時流に合った製品だと思っ

「用したひび割れを自己修復するコンクリートを当社製品に使用することで、100年以上の長期使用が可能となり環境負荷を低減できます」とアピールした。ご自身の今後の取り組みについて伺うと「当社の経営理念は『技の研磨で未来(あした)を創る』」

「あと数年で還暦を迎えるので健康面には気をつけています。最近は夜の懇親会も多くなくなってきたので、飲みすぎないようにしたいのですがなかなか難しいですね。ゴルフも冬はできなくなるので、かわりの運動を見つけてできるだけ体を動かしたいと思っています」と気を引き締めていた。

座石の銘は「縁の下」と持っています。どちらかというと支える方が性格的にもあっていきます。当社の製品も道路を支える土台となるものが多いです。会社と地域インフラを縁の下からしっかり支えられるように取り組みたいと思います」(57歳)



株式会社 技 研

技研の社である「技の術を研磨」をイメージし、磨けば光ると言われるダイヤをモチーフに設定。上半分を「未来・希望・成功」の3つの光、下半分を「実績・信頼・挑戦」の3つの道として表現しています。

本社 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3丁目3番15号
TEL 017-757-9980 FAX 017-757-9981
盛岡事務所 〒020-0011 岩手県盛岡市三ツ割1丁目9-8 SRビル203
TEL 019-658-9486 FAX 050-3424-3026
青森工場 〒039-2312 青森県上北郡六戸町大字下吉田字赤田15番地の1
TEL 0176-70-1088 FAX 0176-55-3909



東北化学薬品株式会社

化学工業・医療・研究分野の試薬・消耗品・機器 トータルソリューションを提供する

OUR SERVICE

食品分野

農業資材分野

ヘルスケア分野

臨床検査試薬分野

化学工業薬品分野



各試薬・消耗品



理化学機器



遺伝子解析受託サービス

↓詳細はコチラから

